

群馬県議会だより 第99号

題字は群馬県立西邑楽高等学校2年生 伝統三道部 書道 川島 潤基さんの書道作品です

発行/群馬県議会 編集/県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-897-2892(政策広報課)

あけましておめでとうございます

本年も県民の皆さまのために頑張ります

北群馬郡 定数1	 大林 裕子	甘楽郡 定数1	 牛木 義	吾妻郡 定数2	 入内島道隆	 水野 喜徳	利根郡 定数1	 星野 寛	佐波郡 定数1	 井田 泉	邑楽郡 定数3	 久保田順一郎	 川野辺達也	 森 昌彦
前橋市 定数8	 狩野 浩志	 水野 俊雄	 酒井 宏明	 安孫子 哲	 小川 晶	 本郷 高明	 鈴木 数成	 宮崎 岳志						
高崎市 定数9	 橋爪 洋介	 後藤 克己	 松本 基志	 高山俊一郎	 追川 徳信	 鈴木 敦子	 大沢 綾子	 清水 大樹	 中島 豪					
桐生市 定数3	 井田 泰彦	 相沢 崇文	 亀山 貴史	伊勢崎市 定数5	 井下 泰伸	 大和 勲	 加賀谷富士子	 斉藤 優	 須永 聡					
太田市 定数5	 あべともよ	 薬丸 潔	 穂積 昌信	 秋山健太郎	 今井 俊哉	沼田市 定数1	 金井 康夫	館林市 定数2	 須藤 和臣	 松本 隆志				
渋川市 定数2	 星名 建市	 金子 渡	藤岡市多野郡 定数2	 神田 和生	 金沢 充隆	富岡市 定数1	 矢野 英司	安中市 定数2	 伊藤 清	 栗野 好映	みどり市 定数1	 丹羽あゆみ		

群馬県議会議員選挙区別(定数50名 現員50名 令和5年12月15日現在)

新年のごあいさつ

群馬県議会議長

安孫子 哲



明けましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎えるに当たり、県民の皆さまに、県議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

振り返りますと昨年5月、新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類相当から5類に移行され、日常生活が戻ってまいりました。コロナ禍の3年間、当たり前だった日常の生活様式は大きく変わり、多くの方が不安やストレスを感じる日々が続きました。新しく迎える令和6年は、社会経済活動が正常化し、人々のつながりが、より強固になる社会が実現することを期待しております。

また、昨年は、首都圏に未曾有の被害をもたらした関東大震災の発生から100年の節目の年であり、今後、首都直下地震等の発生が懸念される中、改めて災害対応の重要性について再認識する年でもありました。

県議会といたしましても、力強い県内経済の再生、防災・減災

対策をはじめ、少子・高齢化による人口減少や、情報化・グローバル化などの社会構造の変化による様々な課題に対して、県執行部並びに関係機関との連携を図りながら、全力で取り組んでまいります。

さて、県議会では、大学生との意見交換や、議員が高校へ直接出向き、政治や選挙等について解説し意見交換する事業など、若い世代に政治への関心を高めてもらえるための取り組みを積極的に実施しております。

選挙のたびに投票率の低下が顕著になる中、これからも若者をはじめ多くの方に県政への関心を高めてもらえるよう、群馬県議会では、個々の議員がそれぞれの地域において、皆さまの声をしっかりと受け止め、県政に届けるよう努めてまいります。

新たな年を迎え、本年が皆さまにとりまして、健やかで幸多き年となりますよう、心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



第3回後期定例会 質疑及び一般質問

令和5年11月29日、30日、12月4日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。
各議員の質問の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

下の各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

11月29日(水)



大和 勲 自由民主党
(伊勢崎市)



▶横断歩道等の道路標示の新たな整備方法について

横断歩道等の塗り直し要望に早期に対応するため、本年11月から新たな契約方法等を試験的に導入しているが、具体的な内容について伺いたい。

A 警察本部長

新たな契約方法は、あらかじめ入札により業者と単価を決定しておくことで、要望から工事完了までの期間を短縮するものである。要望から早く2週間後、遅くても1か月後までの工事完了を見込んでいる。現在、前橋市内と高崎市内に限定しているが、来年度から、県内全域で運用すべく準備を進めているところである。引き続き、交通安全施設整備に関する県民の要望に迅速に応えてまいりたい。



加賀谷 富士子 リベラル群馬
(伊勢崎市)



▶猫の多頭飼育崩壊対策について

猫の多頭飼育崩壊が各地で問題となっているが、群馬県の取組について伺いたい。

A 健康福祉部長

県では、動物愛護、社会福祉、環境、住宅、警察などの行政関係者が参画する連絡会議を立ち上げ、多頭飼育崩壊の予防と解決に取り組んでいる。また、複合化した生活課題に関係者が連携して取り組む市町村の包括的支援体制づくりを推進する。こうした仕組みも活用し、引き続き、市町村や関係機関との連携を一層強化し、多頭飼育崩壊の予防や、早期解決に向けた体制整備に努めてまいりたい。



松本 基志 自由民主党
(高崎市)



▶医療的ケア児等支援センターの状況について

センター設置から5か月が経過したが、これまでの取組状況について伺いたい。

A 健康福祉部長

今年6月末に、群馬県医療的ケア児等支援センター「やっほ」の呼称で開所した。現在、「相談支援」「家族支援」「人材育成と地域づくり」「調査分析と情報発信」の4つの取組を進めている。センター開所により、相談先がわからないという悩みをまずは受け止められる体制を確保したが、課題もあるため、引き続き、保護者等の相談に丁寧に対応し、さらなる支援の充実に取り組んでいきたい。



松本 隆志 自由民主党
(館林市)



▶邑楽館林地域のポテンシャルについて

邑楽館林地域の可能性や今後に期待することについて知事の思いを伺いたい。

A 知事

邑楽館林地域の強みは東京圏に近いことであり、企業の進出先として大きな可能性があると考えている。今年5月には、利根川新橋の整備着手を決断し、地域経済の発展に大きな効果を発揮すると期待している。さらに、多文化共生・共創の先進的な取組が行われており、今後も期待している。この地域の魅力やポテンシャルを最大限に引き出し、市町村としっかり連携してまいりたい。

11月30日(木)



高井 俊一郎 自由民主党
(高崎市)



▶上信電鉄の官民共創について

上信電鉄の存続のためには、官民共創による新たな支援体制が必要だと思いがどうか。



A デジタルトランスフォーメーション推進監

上信電鉄の経営改善のために、官民一体となって新たな取組等を行うことは有意義であると考えている。群馬県としては、国や沿線自治体と連携し、新たな補助制度や経営改善に有効な取組等について情報提供するとともに、国の補助金獲得に向けた伴走支援等を行ってきた。また、既存の協議会に、経営の専門家に顧問として加わっていただく等の対応について、沿線自治体と協議し、検討してまいりたい。



金子 渡 令明
(渋川市)



▶GunMaaS^(※1)の普及拡大における今後の取組について

デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、取組を進めていると認識しているが、今後のサービス展開について検討状況はどうか。

A デジタルトランスフォーメーション推進監

今後のサービス展開としては、使い易さ向上のための機能拡充のほか、交通以外の他の分野と連携したサービスの実装を進めていきたい。その一つとして、今年度は、教育分野との連携を進めている。現在、自家用車を持たない児童や生徒を対象にした「デマンド型の移動サービス」の導入に向け、フィールドとなる渋川市と連携し、環境構築に向けた調整を進めている。



森 昌彦 自由民主党
(邑楽郡)



▶千代田町と熊谷市を結ぶ利根川新橋の架橋について

長年強く要望が出ていた利根川新橋が、建設に向けて加速してきた。現在の進捗状況と今後の事業の流れについて伺う。



A 県土整備部長

現在の進捗状況は、現地測量等について、入札による受注者選定に向けた手続きを進めているところである。受注者の決定後、現地調査に関する地元説明を行った上で、速やかに測量作業を進めていきたい。今後の事業の流れとして、今年度、現地の測量調査を行った後、来年度以降、地域の声を計画に反映させるためのアンケート調査の実施や新橋を含む道路のルートを具体化するための設計等に着手する予定である。



今井 俊哉 自由民主党
(太田市)



▶市町村との連携について

市町村との連携は山本県政におけるキーワードと心得る。市町村との連携について体制や知事の考えはどのようなものか。

A 知事

市町村との連携は、県政運営に当たり極めて重要だと考えている。そのため、市町村の地域課題解決や国庫金の獲得等について、市町村に寄り添った支援を行い、連携強化を図ってきた。県民の幸福度向上のためには、県と市町村とが相互に理解し合い、鍵となる施策を同じ方向を向いて進めていくことが重要である。築き上げてきた市町村との関係を大切に、今後もしっかりと連携してまいりたい。

12月4日(月)



星名 建市 自由民主党
(渋川市)



▶住宅建築における県産木材利用の促進について

県産木材を利用した住宅建築への支援を強化し、継続的に実施すべきと思うが、現行制度の見直しについて県の考えを伺いたい。

A 森林局長

現行の「ぐんまゼロ宣言住宅促進事業」は、県産木材を使った環境性能の高い住宅の普及促進のため、令和3年度から実施している。令和4年度事業では、グループを構成するための支援の追加、令和5年度事業では、それまで補助対象外であった集成材、CLT^(※2)なども、県産木材を使用した場合は補助対象に追加する見直しを行ったところである。今後も事業の成果や課題を整理し、制度の運用方法の検討を行ってまいりたい。



清水 大樹 公明党
(高崎市)



▶インクルーシブ遊具の導入について

年齢や障がいの有無にかかわらず誰もが使えるインクルーシブ遊具の導入について、県立都市公園における現状と考え方を伺いたい。

A 県土整備部長

インクルーシブ遊具は、障がいの有無や性別、年齢の違いなどにかかわらず、あらゆる人が平等に安心して利用できる遊具であるが、県土整備部が管理する都市公園には、現在設置されていない。遊具の更新や設置は、公園施設の長寿命化計画に基づき実施しており、インクルーシブ遊具の設置に当たっては、この計画に則った施設の更新時期に合わせ、関係者の意見を聴きながら検討してまいりたい。



井田 泉 自由民主党
(佐波郡)



▶柔軟な働き方の推進と選択的週休3日制の導入について

県職員の柔軟な働き方の推進とフレックスタイム制の活用による「選択的週休3日制」の導入について、知事の考えを伺いたい。

A 知事

フレックスタイム制を活用した、いわゆる「選択的週休3日制」は、多様で柔軟な働き方を進めていく上では非常に有効な制度で、さらなる生産性や創造性の向上に繋がると考える。群馬県では、令和6年度から知事部局全職員を対象とした試行を予定している。制度の効果検証や課題の洗い出しを行いながら、その後の本格運用に繋げていきたい。



狩野 浩志 自由民主党
(前橋市)



▶北朝鮮による拉致問題における県警察の捜査状況等について

県内には北朝鮮による拉致の可能性を排除できない方が3人いるが、どのような捜査・調査を行っているのか。

A 警察本部長

警察では、北朝鮮による拉致の可能性を排除できない事案の、全国における871人について、捜査・調査を進めている。県警察においては、3人について、拉致の可能性を含め、あらゆる可能性を念頭にご家族や関係者の心情等に配慮しながら、警察庁を始め関係機関と緊密に連携を図り、所要の捜査・調査を継続している。今後ともご家族のご心情を踏まえた対応に努めて参りたい。

※1 GunMaaS…鉄道やバス、タクシーなど複数の交通手段を一括して、検索、予約、決済ができるスマートフォンアプリ。令和7年度県内全域の本格導入を予定

※2 CLT…「Cross Laminated Timber」の頭文字をとった言葉で、日本語では「直交集成板」と呼ぶ。繊維方向が直交するように、複数枚の木の板を重ねて貼り合わせて作った厚みのある板のこと

若者の政治への関心を高める取組



ガチ かける GACHI高校生×県議会議員

※GACHI (ガチ) : 群馬県議会アクティブ・シチズンシップ・ハイスクールの略

群馬県議会では、若者の政治への関心を高めるため、県内すべての高校及び高等部のある特別支援学校を対象に募集し、議員が高校等を訪問し生徒と意見交換する標記事業を実施しています。

11月6日に金井康夫議員、神田和生議員が県立しらがね特別支援学校（前橋市）を、8日に本郷高明議員、井田泰彦議員、牛木義議員が県立高崎高等学校（高崎市）を訪問し、各校の生徒と意見交換を行いました。

議員が、政治や選挙の仕組みについて、○×クイズを交えて分かりやすく解説した後、生徒からの様々な質問に答えました。平成29年からスタートしたこの取組。今年度は、県内18校から申込みをいただきました。先に紹介した2校を皮切りに、2月上旬にかけて順次実施していきます。

～政治を知らなきゃソンをする！～を開催

県立しらがね特別支援学校

主なやりとり (Q:生徒 A:議員)

- Q 子どもの頃はどんなスポーツをしていましたか。
- A スキーやサッカーをしていました。しらがね特支にはいい校庭があります。健康にもいいので、皆さんも運動をたくさんしてほしいです。
- Q 議会は年に何回していますか。
- A 年に4回開かれています。1つの議会は1か月半くらいかけて行われます。県庁の隣にある議事堂で行われているので、ぜひ見学に来てください。
- Q 議員になって不安になることはありますか。
- A 議員は4年に1度選挙があり、選挙で当選しないと議員になれません。このため選挙のたびに当選するかしないか、不安があります。

県立高崎高等学校

主なやりとり (Q:生徒 A:議員)

- Q 気候変動に対して、県ではどんな対策をしていますか。
- A 「ぐんま5つのゼロ宣言」で、気候変動対策として2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを目指して取組を行っています。太陽光発電の導入に対して補助金を出すほか、EVカーシェアリングなどを通じて、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。
- Q 少子化と人口減少について、県ではどんな対策をしていますか。
- A 県では結婚応援パスポート等に取り組んでいますが、結婚したくてもお金がなかったり、子どもを持つことを諦めたりする人がいます。そういう事案の解決に向けてしっかり検討していかなければならないと考えています。
- Q 選挙権のない我々が、これから政治参加するに当たって学んでおいた方がよいことは何ですか。また、現時点で政治参加できることはありますか。
- A 私自身、元々政治に興味は無かったのですが、地域活性化には興味があり、休日を使ってボランティア活動などを行っていました。そこから地域の課題を通じ、政治に触れてきました。政治は地元の問題や地域の課題を県や国に対して伝えていくことです。いろいろな地域の人々とつながることが政治参加のスタートと考えています。



しらがね特別支援学校で説明する金井康夫議員



高崎高校で議員に質問する生徒



高崎高校での○×クイズの様子



大学生が県議に直撃インタビュー

～若者の主権者意識を高める取組を実施～

県内すべての大学・短大など計24校と県選挙管理委員会で構成する「主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアム」。このコンソーシアムの学生チームが、11月29日から12月11日にかけて県議会議員にインタビューを行いました。



学生からインタビューを受ける高井俊一郎議員

これは学生たちが自ら考えた企画で、県議会議員を政策や地域づくりに関わる専門家として位置付け、インタビューを行い、その内容を学生の間で共有することで同世代の若者たちの主権者意識を高めることを目的としています。

インタビューを受けたのは、議会基本条例推進委員会に所属する30代から60代の男女6人の議員です。2～3人でグループとなった学生たちからの「議員になって良かったことは?」「これまで取り組んだことは?」「若者に伝えたいことは?」といった質問に対し、議員たちは「困っている人たちに喜んでもらえた」「不登校支援に取り組んだ」「いろいろな経験を積んでほしい」などと、真剣に答えていました。

NEWS

地方議会活性化シンポジウム2023

地道な活動が大切

～若者の政治参加意識の向上～

総務省主催の「地方議会活性化シンポジウム2023」が11月13日に都内で開催され、テーマである「将来の地方議会を担うのは誰か?」に沿って、各地域の議会における取組紹介や意見交換が行われました。



群馬県議会の取組を紹介する 狩野浩志議員

パネリストとして登壇した本県の狩野浩志議員（議会基本条例推進委員長）は「ぐんまシチズンシップ・アカデミー」や「GACHI高校生×県議会議員」など、若者の政治への関心を高めるために群馬県議会が実施している取組を紹介しました。狩野議員は「若者の政治への関心を高めることは並大抵ではない。地道な活動を一步一步進めることが何より。」と発言。併せて「各議会でもそうした取組を推進していただきたい。」と会場に呼び掛けました。

第3回前期定例会（決算審査）のあらまし

▶10月12日以降の前期定例会についてお知らせします。
決算特別委員会（10月11日設置）では、10月16日、17日に分科会ごとに現地調査や審査が行われました。また、10月24日には各分科会主査から報告を受けた後、総括質疑を行いました。

10月31日の本会議では、決算特別委員会の審査結果について委員長から報告が行われた後、討論と採決が行われ、決算に関する6議案はすべて可決・認定されました。

第3回後期定例会のあらまし

▶令和5年第3回後期定例会は、11月24日から12月14日までの21日間にわたって開催されました。

▶議案

11月24日には、知事から、物価高騰対策として、路線バスを自主運行している事業者や貨物運送事業者への支援等、GunMaaSでのサブスクリプション型サービスの実現に向けたシステムの構築や改修費の支援等、**298億5,576万円を増額する一般会計補正予算案**など**25議案**が提出されました。

また、12月14日には人事案件**4議案**が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として、条例案1件、意見書案2件の計**3議案**が発議されました。

▶質疑及び一般質問

12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が交わされました。（2面参照）

▶常任委員会・特別委員会

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査を行いました。

▶議決

議決は、12月14日に行われました。

知事から提出された議案は、すべて**可決・同意**されました。

議会から発議された議案についてもすべて可決されました。また、**15件**の請願が**採択**されました。



▶可決された主な議案

- 令和5年度群馬県一般会計補正予算（第3号）
- 群馬県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例
：農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく事務の高崎市等への移譲等を行うもの
- 群馬県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例
：住民基本台帳ネットワークシステムを利用できる事務の範囲の拡大等を行うもの

▶可決された意見書

- 保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書
- 特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書

NEWS

全国都道府県議会議長会表彰状の伝達



受賞した須藤和臣議員

在職10年以上の議員に対して、12月14日に全国都道府県議会議長会表彰状の伝達が行われました。また、群馬県議会から顕彰状が授与され、知事から感謝状が贈呈されました。

受賞者

須藤 和臣 議員
(議員在職10年以上)



ぜひお聴きください！

エフエム群馬 新春特別番組「議長・副議長に聞く」

令和6年1月9日(火)午後6時45分～6時55分



県議会ラジオ広報番組 新春特別番組「議長・副議長に聞く」がエフエム群馬で放送されます。

安孫子哲議長=写真右=と川野辺達也副議長=同左=が、新年の抱負や令和5年を振り返っての感想などについて語ります。ぜひお聴きください。



議会図書室について

一般の方もご利用いただけます。



利用時間：平日の午前8時30分から午後5時15分まで
(土曜日・日曜日・祝日、年末年始は休室しています)

利用案内詳細は、右の二次元コードからご覧ください。



県議会だより電子書籍版は、スマートフォン等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。



過去の県議会だよりは、こちらからご覧ください。



県議会ホームページ [群馬県議会](#) 検索

群馬県議会YouTube

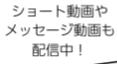
県議会の最新情報は公式SNSでも発信しています。

群馬県YouTube公式チャンネルtsulunogs

X(旧Twitter)



Facebook



ショート動画やメッセージ動画も配信中！



■ 議会だより98号・ぐんま広報12月号でお知らせした、現在制作中の「議会メッセージ動画」については、県公式YouTubeチャンネル「tsulunogs」ではなく、若者の政治への関心を高める取組などで活用することとなりました。

■ 「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和6年4月7日(日)発行予定です

■ 「県議会だより」のご意見については、政策広報課へお寄せください

☎ 027-897-2892 FAX 027-221-8201 ✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp

令和6年第1回定例会のご案内

会期は2月15日から3月18日までの予定です。

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。また、本会議・委員会は、議事堂にお越しいただければ傍聴することができます。なお、2月15日の開会日は、10時30分から群馬交響楽団の演奏が始まり、演奏終了後に第1回定例会が開会します。

■ 本会議・委員会開催日程

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
2月15日	木	本会議(開会・提案説明)	3月6日	水	本会議 (委員長報告・議決(5年度関係))
21日	水	本会議(党(会)派代表による質疑及び一般質問)		8日	金
22日	木	本会議(質疑及び一般質問)	11日	月	特別委員会
27日	火		13日	水	
28日	水	常任委員会(5年度関係)	18日	月	本会議(委員長報告・議決・閉会)
3月1日	金				

※会期は予定ですので、変更される場合もあります(2月15日以外の開会はおおむね午前10時からです)

■ 県議会中継

テレビ **群馬テレビ** 午前10時～〈生中継〉

本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。



インターネット **県議会ホームページ**【議会中継】
(生中継・録画)

本会議(全日程)をご覧ください。



スマートフォンでの視聴はこちら↑

公職選挙法により、議員が選挙区内の人や団体に対し、年賀状等のあいさつ状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことは禁止されています。